

会 議 録

会議の名称	令和2年度第3回川島町環境保全審議会並びに川島町廃棄物減量等推進審議会	
開催日時	令和2年10月22日(木)午後2時から3時30分まで	
開催場所	川島町役場 大会議室	
議 題	(1) 輪中の郷 環境総合計画(環境基本計画・一般廃棄物処理基本計画)の見直しについて (2) その他	
公開・非公開の別	公開(傍聴者なし)	
出席者	委 員	川島 和春委員・猪鼻 義治委員・野村 尚男委員・大林 郁生委員・大島 徹也委員・赤坂 いづみ委員・後藤 真太郎委員・鈴木 貞美委員・斉藤 龍司委員・今井 孝雄委員・菊池 建太委員・飯島 久美子委員・瀬間 さやか委員・石川 勉委員・青木 健委員 計15名
	事務局職員	町民生活課課長 横山・同主幹 阿泉・同主査 竹越 ゼロ・ウェイスト推進室長 渡辺・同主幹 井上
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・委員名簿 ・川島町太陽光発電設備の設置及び管理等に関する条例リーフレット ・川島町環境基本計画【見直し概要版(案)】について ・社会情勢・新たな法令等を踏まえた見直しについて ・川島町一般廃棄物処理基本計画の見直しについて 	
審議会の経過		
事務局	(開会)	
会長	(会長あいさつ)	
事務局	川島町太陽光発電設備の設置及び管理等に関する条例及び川島町太陽光発電設備の設置及び管理等に関する条例施行規則について、9月議会定例会で可決されたとのことですので、事務局から報告をお願いいたします。	
事務局	(資料1に基づき報告)	
事務局	今の報告についてご確認・ご質問はございますか。なければ、4番の議事に移ります。	
議長	(傍聴者確認：傍聴者なし) (審議会成立説明)	
事務局	(議事録署名人を野村尚男氏と今井孝雄氏に指名)	
議長	議事(1)輪中の郷 環境総合計画(環境基本計画・一般廃棄物処理基本計画)の見直しについて事務局から説明をお願いいたします。	
事務局	(資料2に基づき説明)	
事務局	(資料3に基づき説明)	
事務局	(資料4に基づき説明)	
議長	まず前半部分の、川島町環境基本計画の見直し概要版(案)について、新たに自然環境の保全のところに生物多様性の保全と環境保全活動の推進に気候変動の影響の把握が加わったとのことでしたが、SDGsとの関係性を示していただき、その先をどうするかということが課題だと思います。生物多様性の保全を導入した理由としては、資料3の2で生物多様性国家戦略について説明	

いただきました。地球気候変動影響の把握につきましては、埼玉県地球温暖化対策実行計画の中に新たに加わったというのが理由とのことでした。

事務局 SDG s というと、たいそうな目標のように思われますが、よく言われるのが近江商人の「三方よし」という考え方です。自分よし、相手よし、地域よしでないと物が売れないという考え方です。相手の部分も解決しないと解決できないということで、考え方の中に少し触れても良いのかなと思いました。

SDG s を入れた理由ですが、社会情勢の変化が大きな要因の一つです。環境に関する目標は多く、他市町村の計画等も、SDG s の取組に対してどういう位置づけをされるか議論されています。川島町の環境政策についてもこういうSDG s の流れにのっついていこうという考えです。

議長 目標値を定めてしっかり守るようにする。一つの例として、産業廃棄物の基本計画ですね、不法投棄の防止とか目標値を定めても、今まで延々と達成できなかった。監視するという事は出来ても限界はありますので、そういう部分をどうするかSDG s の具体策を産業廃棄物で行う。そういうことは出来そうな気がします。産業廃棄物とSDG s の関係の説明がありませんでしたので、産業廃棄物の減少とかは入るわけです。そういうまとめ方にしたらよいと思いました。その他にございますか。

委員 気候変動の記録ですとかは、町でそこまで記録していません。川島町は平坦で水田が多く残っている。そのため変動が和らいでいるととらえられる。稲作は気候変動の影響を受けやすい。

議長 基本計画は範囲が広くて、もやっとしている。また、ご意見をいただいてそれを反映させるということで進めていきたいと思います。それでは、後半の川島町一般廃棄物処理基本計画の見直しについてご意見・ご質問はございますか。

委員 ごみ処理の件で、処分に関する課題113ページですが基本的な町の方向性を聞きたいのですが、川島町の環境センターの焼却施設はすでに40年経過している。基本的には見直しはしないのか、今後のごみ処理の計画はどうなっているのか。

事務局 現時点では、大規模修繕を行うか行わないかの判断をするための資料をそろえているところです。町では平成27年に埼玉中部資源循環組合に加入し、令和5年度末に環境センターの可燃ごみの焼却炉を閉めて吉見町の新施設に移行する予定であったのですが、令和2年3月末に解散となりました。町の今後のごみ処理については、内部で調整しているところであり、結論について、いつとは申し上げられませんが早いうちに結論を出すように調整をとっているところです。

委員 最終目標が達成されているのが結構ありましたが、今回の見直しで最終目標をさらに上げるような見直しを考えているのか教えてください。

事務局 既に最終年度の目標を達成していますが、今日は現状と課題の整理ということで、次回に目標設定をしたいと思います。

委員 一つ気づいた点が、資料4の事業系ごみP93は99ではないでしょうか。あと質問ですが、「処理処分に関する課題」で最終処分量の削減に向けたごみ処理施設の維持というのが×(ペケ)になってますが、最終処分量比P101の平成27年度以降不燃残渣の最終処分はなくなり全てリサイクルとございます。P113に書かれているのは焼却ごみということでよろしいでしょうか。これは、ごみ処理施設の維持の問題ですね。最終処分量の削減が全てリサイクルで達成されたので、ごみ処理施設は維持する必要があるかと思ったのですが。

委員 最終処分がゼロになったというのは、どういうふうのリサイクルされている

事務局	<p>のですか。</p> <p>焼却灰は平成19年度から埋立をしております。太平洋セメントと寄居町にあるツネイシカムテックスというところで、セメント・道路基盤材の材料等にリサイクルしてます。また、平成27年度から破碎・選別残渣、主に瀬戸物とガラスの破片を、以前は寄居の県の資源循環施設で埋立していましたが、それ以後は千葉県の銚子市にある施設にガラスや瀬戸物の残渣を処理委託しています。施設では、再生砂として道路の一番下の層にリサイクルされています。</p>
委員	<p>そうするとごみ処理施設として、資料4のごみ処理施設の維持に必要がないということですね。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
委員	<p>不法投棄の防止策が大きな課題としてあるのですが、不法投棄の量というのは増えているのですか。</p>
事務局	<p>不法投棄は、連絡があつてから職員が直接現地に赴くこともあるのですが、川島の場合シルバー人材センターに月10回ほど町内全域を見回りしてもらっています。不法投棄があれば積んで環境センターに持ち込まれます。特に多かったのはテレビが地デジ化された時で、1年で100台以上捨てられていたことがあります。</p>
委員	<p>今でもですか。</p>
事務局	<p>20台から30台は捨てられていると思います。本来であれば手数料を払って処分していただくのものです。家電4品目も処理料金がかかるので冷蔵庫等は年間で30台から40台は捨てられます。町で費用を負担して処理しています。不法投棄の増加傾向は感じられず満遍なく捨てられているところです。</p>
委員	<p>捨てられているのは河川数が多いのですか。</p>
事務局	<p>荒川の芝沼地区から太郎右衛門橋あたりが多いです。また、市野川あたりも多いです。国道254号から入って夜間に捨てられるケースもあります。</p>
議長	<p>その他にご意見はございますか。</p>
事務局	<p>一点だけ。ごみ処理につきましては、5年を経ちまして最終目標を達成しております。これは、ご家庭の皆さんや事業所の皆さんのご協力で達成できたものと思います。次回の審議会等では新たな目標の案もできれば良いかなと思っております。</p>
議長	<p>ご意見がありましたら、事務局まで連絡をお願いします。これで議長を降ろさせていただきます。</p>
事務局	<p>委員の皆様におかれましては、長時間にわたりご審議いただきありがとうございます。次回の審議会は12月17日の木曜日、コミュニティセンターを予定しています。</p>
副会長	<p>(閉会のあいさつ)</p>

署名	<p>野村尚男 </p>
	<p>今井孝雄 </p>